

# 戦陣の美



本小札色々威腹巻  
(ほんこざねいろいろおどしはらまき)  
室町時代後期



唐冠形兜  
(とうかんなりかぶと)  
毛利輝元所用



金箔押し輪紋白糸威二枚胴具足  
(きんぱくおしにちりんもんしらいとおどしにまいどうぐそく)  
豊臣秀吉近習所用

鉢形城歴史館の令和4年秋季企画展は「戦陣の美」と題し、県内在住で甲冑歴史研究家である伊澤昭二氏のコレクションを中心に展示します。今回の展示は、令和2年秋から続く伊澤コレクション展の第3弾となります。

安土桃山時代の壮麗な甲冑は当世具足として、美術工芸品として評価されていますが、鉢形城主北条氏邦の重臣である秩父孫次郎所有と伝わる「関東五枚胴」は、歴史資料として見直され、その評価も高まっています。近年同系列の「胴」が数は少ないながらも確認され始め、いわゆる「大名具足」ではなく、大多数を占めていたであろう在地領主（国衆）の甲冑の実態が明らかになりつつあります。関東国衆の甲冑と豊臣秀吉近習の甲冑とを展示し、比較することで、小田原合戦の風景を思い描いてみることも一興でしょう。

また、江戸時代の所産と思われる「北条氏康公画像」は、武者姿の氏康を描いていることが注目され、今回初の展示となります。さらに、戦陣を彩る旗にも注目し、稲垣宏一氏のご協力を得て、今回5点出品いただき

ました。甲冑姿の武者が颯爽と旗をたなびかせて疾駆する姿に思いをはせていただければ幸いです。

今回初めて出品される「本小札色々威腹巻」は、数少ない室町時代後期の所産であり、「唐冠形兜」は毛利輝元が所有していたと伝えられています。普段見ることのできない貴重な歴史資料を展示しますので、ぜひご来館ください。

▶期間／10月8日(土)～11月27日(日)

※10月11日(火)、17日(月)、24日(月)、31日(月)、11月4日(金)、7日(月)、14日(月)、21日(月)、24日(木)は休館日

▶開館時間／午前9時30分～午後4時30分  
(入館4時まで)

▶場所／鉢形城歴史館・企画展示室

▶入館料／一般200円、高校生・大学生100円  
(20人以上半額)

※70歳以上、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料

☎ 鉢形城歴史館 (☎ 586・0315)